

2017/12/24

## J A R L 神奈川県支部主催

神奈川県支部長 JF1NEF 森野 富士彦  
コンテスト委員長 JA9SCB 今村 明弘

### 第47回オール神奈川コンテスト規約

下記規約をご精読の上、奮ってご参加ください。

#### 【開催日時および使用周波数】

2018年(平成30年)6月2日(土)

(ステージ1) 15:00~18:00 (JST)

14MHz、21MHz、28MHz、50MHz、1200MHz、2400MHz の各バンド

(ステージ2) 21:00~24:00 (JST)

1.9MHz、3.5MHz、7MHz、144MHz、430MHz の各バンド

なお、電信(CW)および電話(AM、SSB、FM)による各バンドにおける使用周波数帯は、下記の通りとする。

- (1) 1.9MHz バンドは全周波数とする。
- (2) 3.5MHz から 430MHz の各バンドは JARL 主催コンテスト使用周波数帯の指定によること。
- (3) 1200MHz および 2400MHz バンドは総務省告示の「アマチュア業務に使用する電波の形式及び周波数の使用区分」によること。
- (4) A2A電波による電信はAM/SSB、F2A電波による電信はFMの使用周波数帯を用いること。
- (5) 各バンドの呼出周波数(51.30MHz、145.30MHz、433.30MHzの各デジタル呼出周波数も含む)は使用しないこと。

#### 【参加資格】

日本国内のアマチュア無線局

#### 【交信方法】

(交信相手局)

神奈川県内で運用する局(県内局)の場合:全ての国内局

神奈川県外で運用する局(県外局)の場合:神奈川県内で運用する局(県内局)

(呼び出し)

県内局 電信:「CQ KN TEST」

電話:「CQ神奈川コンテスト」

県外局 電信:「CQ KNX TEST」

電話:「CQ神奈川コンテスト こちらは県外局」

(コンテストナンバーの交換)(別表1参照)

県内局:「RST符号による相手局のシグナルレポート」+

「自局の運用場所を示す神奈川県内の市・郡・区ナンバー」

県外局:「RST符号による相手局のシグナルレポート」+

「自局の運用場所を示す都・府・県（小笠原を含む）及び北海道の地域ナンバー」

なお、北海道・札幌市は石狩地域の区域、沖ノ鳥島、南鳥島、硫黄島は小笠原の区域に含まれるものとする。

（例）横浜市中区から運用の県内局（電話）の場合：59110104

【参加部門および種目】（下記のいずれか1つの部門種目のみに書類提出できます）

部門	種目	コードナンバー			
		県内局	県外局		
電信	シングルオペ (注2)	オールバンド (注3)	KCSA	XCSA	
		ジュニア・オールバンド (注4、5)	KCSJA	XCSJA	
		HF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド (注3、6)	KCSHL	XCSHL	
		HF-High (14/21/28MHz) バンド (注3、6)	KCSHH	XCSHH	
		50MHz バンド	KCS50	XCS50	
		144MHz バンド	KCS144	XCS144	
		430MHz バンド	KCS430	XCS430	
		UHF (1200/2400MHz) バンド (注3、6)	KCSU	XCSU	
	マルチオペ (注2)	オールバンド (注5)	KCMA	XCMA	
		ジュニア・オールバンド (注4、5)	KCMJA	XCMJA	
	電信電話 (注1)	シングルオペ (注2)	オールバンド (注3)	KXSA	XXSA
			ジュニア・オールバンド (注4、5)	KXSJA	XXSJA
			HF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド (注3、6)	KXSHL	XXSHL
			HF-High (14/21/28MHz) バンド (注3、6)	KXSHH	XXSHH
50MHz バンド			KXS50	XXS50	
144MHz バンド			KXS144	XXS144	
430MHz バンド			KXS430	XXS430	
UHF (1200/2400MHz) バンド (注3、6)			KXSU	XXSU	
マルチオペ (注2)		オールバンド (注5)	KXMA	XXMA	
		ジュニア・オールバンド (注4、5)	KXMJA	XXMJA	

(注1) 電信電話部門は、「電信および電話」または「電話」の交信によるものとする。

(注2) シングルオペは、コンテスト中の運用に関わる全てを一人で行なうものとし、それ以外はマルチオペとする。なお、単一オペレーターによる運用での社団局からのシングルオペ参加、ゲストオペレーター制度を活用した個人局からのマルチオペ参加も可。

(注3) シングルオペ・オールバンド種目には、2つ以上の周波数帯を使用した場合にのみエントリーできる。なお、例えば3.5MHzバンドと7MHzバンドの2つを使用した場合には、オールバンド種目もしくはHF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド種目のいずれか一方を選択してエントリー可。

(注4) ジュニアには、運用するオペレーターの年齢が18歳以下（マルチオペ・ジュニアで

は、全てのオペレーターの年齢が 18 歳以下) の場合にのみエントリーできる。

(注 5) シングルオペ・ジュニアおよびマルチオペは、使用する周波数帯の数に関係なくオールバンド種目にエントリーしたものとみなす。

(注 6) HF-Low (1.9/3.5/7MHz) バンド、HF-High (14/21/28MHz) バンドおよび UHF (1200/2400MHz) バンドの各種目には、それぞれの種目に含まれる 1 つ以上の周波数帯を使用した場合にエントリーできる。なお、1.9MHz バンドのみを使用した場合は、電信電話部門にはエントリー不可。

#### 【得点およびマルチプライヤー】

(得点)

コンテストナンバー交換が完全に行なわれた交信を 1 点とする。

ただし、県外局同士の交信は無効 (0 点) とし、また同一バンド内における同一局との重複交信は、たとえ電波形式が異なっていた場合であっても、1 交信のみを得点とし、それ以外は 0 点とする。

(マルチプライヤー)

県内局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の市・郡・区および神奈川県以外の異なる都・府・県 (小笠原を含む) 及び北海道の地域

県外局：相手局の運用場所を示す異なる神奈川県内の市・郡・区

#### 【総得点の計算】

「各バンドにおける得点の和」×「各バンドで得たマルチプライヤー数の和」とする。

#### 【禁止事項】

(1) クロスバンド、クロスモードおよびレピータによる交信

(2) 同一時間帯ステージ中における運用場所の変更および同一時間帯ステージ中におけるマルチオペ局の複数地点からの運用

なお、例えば時間帯ステージ 1 での運用をある一箇所の移動先地点から行い、時間帯ステージ 2 での運用を常置場所あるいはもう一箇所の別の移動先地点から行なうことは可。このような場合、送信する自局の運用場所を示すコンテストナンバーが時間帯ステージ毎に異なることも可。ただし、運用場所の一方が神奈川県内、他方が神奈川県外となる場合は、いずれか一方の地点における運用のみを選択し、参加部門が県内局もしくは県外局のどちらか一方となる審査対象書類を提出すること。

(3) シングルオペ局の同一または異なるバンドにおける 2 波以上の電波の同時発射

(4) マルチオペ局の同一バンドにおける 2 波以上の電波の同時発射

(5) 同一オペレーターが複数参加局間で掛け持ち運用 (ゲストオペレーターなどによる複数シングルオペ局間、シングルオペ局とマルチオペ局間、複数のマルチオペ局間などでの運用) を行った場合における当該複数参加局それぞれからの審査対象書類の提出

このような運用を行った場合、同一オペレーターが複数の審査対象参加局の間で重複しないように、いずれか 1 つの参加局からのみ審査対象書類を提出することは可。

#### 【書類提出】

(1) JARL 制定の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの) を使用し、必要事項を記入して提出すること。電子メールによる書類提出の場合は、電子ログ書類として JARL 主催コンテストにおける所定の様式で作成したデータをテキストメールの本文または添付ファイル (テキスト形式ファイルに限る) として提出先メールアドレスに送信すること。(別表 2 参照)

なお、紙によるサマリー・ログ書類は、手書きのもののみを受け付けることとする。

- (2) 全部門および時間帯ステージ1とステージ2を通じて、いずれか1つの種目のみに書類を提出すること。(ステージ1とステージ2からそれぞれ1種目ずつの書類を提出することは不可) またオールバンド種目に参加の場合は、ステージ1とステージ2の両方のログを合わせた書類を1つだけ提出すること。(どちらか一方のステージのみの書類によるオールバンド種目参加も可)

なお審査の対象とすることを希望しない交信については、チェックログとしての提出を推奨します。チェックログ扱いを希望する交信については、ログシートにおいて当該交信の得点を0点とし、サマリーシートの意見欄等に希望するチェックログ扱い内容などを明記すること。

- (3) 常置場所以外に移動して運用した局は、運用場所を書類に明記すること。  
(4) ジュニアの場合はオペレーターの年齢を、マルチオペの場合はオペレーターリスト(無線従事者資格、コールサインもしくは氏名)をサマリーシートの意見欄等に明記すること。  
(5) 交信局数が100局を超える紙ログ書類を郵送で提出する場合は、重複する交信およびマルチプライヤーの確認書類(チェックリスト)を添付すること。(様式は問いません)  
(6) サマリーシートの意見欄にお寄せいただいたご意見やご感想は、今後のコンテスト運営に活かさせていただくとともに、後日コメント集として公表させていただく場合があります。  
(7) 提出締切日: 2018年(平成30年)6月23日(土)(電子メール着または消印有効)  
(8) 提出先

(電子メールの場合)(別表2参照)

送信先メールアドレス : jarlkncontest+akn@gmail.com  
送付可能な形式 : JARL形式に準ずるテキスト形式  
送信件(Subject)名 : エントリーするコールサイン(例: JA9SCB/1)

(紙ログ書類郵送の場合)

〒244-0842 神奈川県横浜市栄区飯島町2070-16  
今村 明弘 (JA9SCB) 宛

(封筒には、『オール神奈川コンテストログ在中』と朱書きすること)

## 【賞】

- (1) 全ての部門種目毎に、参加局数が10局以下の場合1位、11局から20局以下の場合2位まで、21局以上の場合3位までの順位の局を支部大会(ハムの集い)で表彰し、賞状を贈る。  
(2) 支部大会(ハムの集い)に出席されなかった表彰対象局には、大会終了後に賞状を郵送します。

## 【失格事項】

- (1) 本規約に定める事項に違反した場合  
(2) その他JARL主催コンテスト規約に準ずる失格事項

## 【結果発表】

- (1) JARL神奈川県支部のホームページ(<http://www.jarlkn.info/>)、JARL NEWSなどで公表します。  
(2) 電子メールによる書類提出者には、電子メールで結果表(案)をお知らせします。  
(3) 返信先を明記して切手を貼った封筒(SASE)を同封された郵送による紙ログ書類提出者には、郵送で結果表を返信します。

【その他】

本規約に明記なき事項についてはJARL主催コンテスト規約に準ずるものとします。

本規約に対するお問い合わせは、書類提出先まで封書（返信先を明記して切手を貼った封筒（SASE）を同封のこと）もしくは、下記のお問い合わせ先メールアドレスまで電子メールにてお送りください。

問い合わせ先メールアドレス：jarlkncontest+request@gmail.com

（別表1）神奈川県内の市・郡・区ナンバーの一覧

横浜市内の区ナンバー		川崎市内の区ナンバー		神奈川県内の市ナンバー	
鶴見区	110101	川崎区	110301	横須賀市	1102
神奈川区	110102	幸区	110302	平塚市	1104
西区	110103	中原区	110303	鎌倉市	1105
中区	110104	高津区	110304	藤沢市	1106
南区	110105	多摩区	110305	小田原市	1107
保土ヶ谷区	110106	宮前区	110306	茅ヶ崎市	1108
磯子区	110107	麻生区	110307	逗子市	1109
金沢区	110108	相模原市内の区ナンバー		三浦市	1111
港北区	110109	緑区	111001	秦野市	1112
戸塚区	110110	中央区	111002	厚木市	1113
港南区	110111	南区	111003	大和市	1114
旭区	110112	神奈川県内の郡ナンバー		伊勢原市	1115
緑区	110113	愛甲郡	11001	海老名市	1116
瀬谷区	110114	足柄上郡	11002	座間市	1117
栄区	110115	足柄下郡	11003	南足柄市	1118
泉区	110116	高座郡	11004	綾瀬市	1119
青葉区	110117	中郡	11006	(注) 横浜市、川崎市、相模原市の各市は、区ナンバーを使用する	
都筑区	110118	三浦郡	11007		

都・府・県（小笠原を含む）及び北海道の地域ナンバーについては、「JARL コンテストで使用  
する都府県・北海道の地域・番号表」に準じます。

なお、北海道・札幌市は石狩地域の区域、沖ノ鳥島、南鳥島、硫黄島は小笠原の区域に含まれるものとする。

（別表2）電子メールによるコンテスト電子ログ書類の提出要領

送信先メールアドレス	jarlkncontest+akn@gmail.com
送付可能な形式	JARL 形式に準ずるテキスト形式 サマリーシート部分およびログシート部分を一体としたテキスト形式を、メール本文もしくは添付ファイル（テキスト形式ファイルに限る）として送付すること
送信メール件名（Subject 名）	エントリーするコールサイン（例：JA9SCB/1） 半角英数字を用いること

（参考）「JARL 主催コンテストの電子ログの提出について」

[http://www.jarl.org/Japanese/1\\_Tanoshimo/1-1\\_Contest/e-log.htm](http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/e-log.htm)

「JARL 神奈川県支部主催コンテストの電子ログ提出について」

[http://www.jarlkn.info/award\\_contest/index4\\_file/e\\_log/2017e\\_log.pdf](http://www.jarlkn.info/award_contest/index4_file/e_log/2017e_log.pdf)